

【事例②-基本情報】

介護度		要介護2	年齢	89	性別	女
家族状況	家族構成	独居（次男が大阪在住、近所に孫が住んでいる）			関係	良好
	状況	月に数回次男が訪問。孫は不定期だが週1～2回訪問。				
	定期巡回への理解・意向	本人	年をとって不安になる事が多いので、いつでも電話出来るのは安心			
	家族	仕事などで急に行けない場合も多いので、定期的に様子をみて欲しい				
疾病	変形性腰椎症 変形性膝関節炎					
	服薬	なし				
ADL	排泄や食事等の日常動作は自立。一人での外出、ゴミ捨て、掃除ができない。					
依頼経緯	2017年12月に長男を咽頭がんで亡くす。それ以降、喪失感からうつ病を発症。 ADLはほぼ自立だが、精神的な不安定さから食事ができなかつたり、日常生活に支障がでる。 訪問介護を利用していたが、随時の訪問や不安が強い時に訪問して欲しいとの事で、2018年7月より定期巡回利用開始する。					
開始時のプラン	一体型 ・ 連携型 ※○をお願いします					
	課題	訪問介護の時にずっと来てくれていたヘルパーに対して強く依存しており、その他のヘルパーに対して不信感が強くある。				
	定期巡回での支援の方針	ADLはほぼ自立状態なので、まずは信頼関係の構築を目指し、掃除やゴミ捨て、買い物をスムーズに行えるよう丁寧に支援行っていく。				
	開始時の状況	ヘルパーに対して、「前の方はこうしてくれた、あの人は私を助けてくれた」など訪問介護時代のヘルパーと比べるような発言多く、そのことをクレームとしてケアマネに報告するなどあり。掃除や買い物などをしようとすると「今日はもういいから、帰って」と、サービスが行えない事も多くある。				

※別シートにスケジュールの記入もお願いいたします。